60th Anniversary

茨城労福協設立60周年記念誌

「つながる・よりそう・支え合う」

―安心して暮らせる社会をめざして―

一般社団法人 茨城県労働者福祉協議会

福祉の心60年

60th Anniversary

CONTENTS

ごあいさつ ―― 3
茨城県労働者福祉協議会会長　内山　裕

祝辞 ―― 4
労働者福祉中央協議会会長　芳野友子
茨城県知事　大井川和彦

結成からの50年のあゆみ ―― 6
1963-1972
1973-1982
1983-1992
1993-2002
2003-2013

茨城労福協のこの10年 ―― 11

労福協歴代役職員一覧 ―― 21
一般社団法人茨城県労働者福祉協議会 会員名簿 ― 27

「福祉はひとつ」労福協の原点を大切に

茨城県労働者福祉協議会
会　長　内山　　裕

この度、茨城県労働者福祉協議会（茨城労福協）は設立60周年となります。

この日を迎えることができますこと、ひとえに、労福協運動の発展のためにご尽力を頂いて参りました諸先輩方をはじめ、会員組織、茨城県・各市町村、経営者団体など日頃から連携を図らせて頂いております各種団体の皆様のご支援の賜物であり、心より感謝を申し上げます。

茨城労福協は、1963年（S38）10月22日（火）に県内労働者の福祉活動の礎として、組織・未組織を問わず全ての働く仲間の福祉、経済的・社会的地位の向上を目指し設立されました。

当時の設立趣意書を紐解きますと、その結びの言葉として、「福祉運動が、運動として労働運動の中にあると言う観点に立てば、福祉運動の守勢的姿勢は、労働運動の現在の姿勢の一面を表すことですし、労働運動の姿勢が福祉運動の姿勢を強めることになるのは言うまでもありません。労働運動と福祉運動を一本のレールにのせて、私達の今持っている弱さを克服し、組織を強めるとともに、長期に闘っていく目標と体制の確立のために、全国的には若干の遅れをとっておりますが今後の努力を誓い合い、茨城県労働者福祉協議会を結成する。」と書かれています。

以来、この設立理念を念頭に、先人の方々に築き上げていただいた組織体制や活動成果をもとに、時代の変化に即応しながら様々な活動を展開してきました。

私達を取り巻く情勢も様々な変化をしています。特に、「コロナ禍」の３年半あまり、生活様式も変わり、働き方にも変化をもたらし、労福協の取り組みも大きな影響を受けてきました。

その様な中でも、「いばらき出会いサポートセンター」、「くらしの何でも相談」の取り組みの充実を図ると共に、新たに次世代のリーダー育成も兼ねた「労働者福祉・リーダー養成ワークショップ」の取り組みを始めています。労働者自主福祉運動に関わる関係団体の役職員を対象として、歴史を学び、理念・課題を考え、私達が社会に果たすべき責任や求められる役割を再認識することを目的に開催しています。労働運動と労働者福祉運動が一体となり、連帯・共同の力を結集し「福祉はひとつ」と言う、労福協の原点を大切に、多様性を認め合い、未来に向けて一層躍進していくことが必要であると思っております。

茨城労福協は、60周年の節目を契機に、より充実した勤労者福祉事業の遂行によって社会的役割を果たしてまいります。会員組織をはじめ皆様の変わらぬご理解とご協力を賜ります様、心からお願い申し上げて結成60周年記念誌発刊にあたってのご挨拶とさせて頂きます。

茨城県労働者福祉協議会
設立60周年記念誌の発刊に寄せて

労働者福祉中央協議会
会　長　**芳野　友子**

このたび、茨城県労働者福祉協議会が設立60周年の節目を迎えられましたことを、心よりお慶び申し上げます。また、日頃の中央労福協への多大なるご支援・ご協力に厚く御礼申し上げます。

貴協議会は、生活全般に関わる悩みに寄り添う「くらし何でも相談ダイヤル」、「いばらき出会いサポートセンター」など、さまざまな事業を展開してこられました。とりわけ、1999年より始められた結婚を希望する方の出会いの場を提供する結婚支援事業は、全国の労福協に先駆けて取り組みを展開され、これまでに2,600組を超える成婚を達成するなど、少子化対策の一翼を担う社会的意義のある活動として全国でも注目されています。また、県内の協同組合が組織する「協同組合ネットいばらき」、フードバンク、ユニセフ、消費者団体など、地域のさまざまな団体と連携し、地域課題の解決にも尽力されています。

これまで労福協運動のバトンをつないでこられた歴代の役職員をはじめ、関係者の皆さまのご尽力に心から敬意を表します。

さて、新型コロナウイルス感染症の拡大は国民生活を一変させ、格差や貧困、社会の分断が深刻化し、コロナ禍以前から抱えていた日本社会の脆弱性が次々と浮き彫りになっています。コロナ前の状態に戻すのではなく、さらにより良い社会とすべく、労働者自主福祉運動をはじめとする労福協の役割を中央や地域で発揮するとともに、公的セーフティネットの強化を継続して求めていく必要があります。

中央労福協ではこれまで、コロナ禍で生活に困難を抱える人たちやその相談・支援活動を応援する「ろうふくエール基金」の取り組み、「奨学金制度改善・教育費負担軽減」運動など、社会的な取り組みを展開してきました。また、コロナ禍によってさまざまな活動の制限が余儀なくされる中でも、新しい手法を取り入れ、創意工夫を凝らし、労福協運動を継続することができたのは、ひとえに皆さまのご協力があってのことです。心より感謝申し上げます。

「つながる・寄りそう・支え合う」をキーワードに、地域でネットワークを広げ、「2030年ビジョン」の実現と、SDGsがめざす「誰一人取り残さない」持続可能な社会の創造をめざして、「今こそ、労働者福祉運動の出番」との気概を持ち、ポストコロナ社会に向けてともに前進していきましょう。

貴協議会の60年にわたる活動の貴重な歴史と経験を元に、今後、ますますご発展されることを心より祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

祝　　辞

茨城県知事
大井川 和彦

このたび、一般社団法人茨城県労働者福祉協議会が設立60周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

茨城県労働者福祉協議会におかれましては、昭和38年の設立以来、本県における労働福祉活動の中核として、労働者の生活の安定と福祉の向上に多大な貢献をしてこられました。これもひとえに、内山裕会長をはじめ、歴代の役職員並びに関係者の皆様方のたゆまぬ努力の賜であり、深く敬意を表する次第でございます。

特に、平成18年に県と貴協議会が共同で設立した「いばらき出会いサポートセンター」におきましては、令和４年度末に成婚数が2,600組を超え、AIマッチングシステム導入から２年間でお見合い、交際開始件数が約３倍に増加するなど、結婚支援に大きな成果を上げております。

また、本県の労働相談事業への支援や「ライフサポートいばらき」による「くらし何でも相談」の運営など、本県の労働者福祉の向上にお力添えをいただいており、改めて感謝申し上げます。

さて、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進展する一方、世界的な物価高騰や急激な人口減少による国内経済の規模縮小など、私たちは、まさに先の見えない「非連続の時代」の只中にあります。

この時代を乗り越えるため、私たちには、常に挑戦する気概を持ち、自ら考え、未来を切り拓いていくことが求められております。

県といたしましては、「挑戦」「スピード感」「選択と集中」を基本姿勢として、困難な課題も先送りすることなく「新しい茨城づくり」に全力で取り組んでおります。

特に、本県の活力を維持・増進していくためには、誰もが働きやすい環境を整備し、多様な人材が活躍することが不可欠であります。県としましては、多様で柔軟な働き方や労働時間の縮減などに積極的に取り組む企業を「働き方改革優良企業」として認定し、優れた取組を優良事例として発信するなど、県内企業の取組を促進するとともに、働く女性が早い段階から自身のキャリアについて考え、管理職になるためのマネジメントスキルを学ぶための研修を階層別に実施するなど、女性のキャリアアップを支援しているところです。

こうした取組を進める上で、産業を支える労働者の生活の安定と福祉の向上は必要不可欠なものでございます。茨城県労働者福祉協議会の皆様におかれましては、この度の設立60周年を契機といたしまして、なお一層のご尽力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般社団法人茨城県労働者福祉協議会の益々のご発展と皆様のご活躍をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

結成からの50年のあゆみ

昭和 38 年度～昭和 47 年度

1963 [昭和 38] 年度
○10 月 22 日、茨城県労働者福祉協議会設立
「労働運動と福祉活動を一本のレールにのせて長期的に闘おう」を趣意書にもりこみ結成
○労金 1,000 億円達成運動に取り組む
○各単産共済制度波及、国労共済発足

1964 [昭和 39] 年度
○スポーツ祭典開始
第 1 回茨城県労働者スポーツ祭典を開催
関東・全国祭典にも出場
○総会に労働者会館建設問題浮上
○つりセンター建設提案
労働者の余暇利用の一端として「つりセンター」建設を議論するが、候補地で難航
○中央労福協 15 周年記念
○全日本労働総同盟（同盟）結成

1965 [昭和 40] 年度
○「旅の会」設立
労福協「旅の会」を設立し会員間の交流につとめる（労働者の余暇利用の健全化に向けた旅行斡旋業）
○労福協ニュース発行
○労働者スポーツ協会設立
○労福協物資部設立

1966 [昭和 41] 年度
○労働者福祉問題研究会を開催
○労働基準局長へ要請
共済規制、社内預金反対の署名、抗議集会
○労働福祉会館建設委員会を設置

1967 [昭和 42] 年度
○全国労スポ、茨城で開催
卓球大会とバレーボール大会を水戸で開催
○労生協設立
労福協「物資部」「旅の会」を解散し、新たな「茨城県労働者消費生活協同組合」包含

1968 [昭和 43] 年度
○労働福祉会館落成
県労連、各事業団体の協力によって建設される
○労働福祉強化月間制度導入
労働者福祉統一要求行動と強化月間制度を取り入れる
○労住協 1,000 戸建設記念式典

1969 [昭和 44] 年度
○労福中央会に名称変更
第 7 回通常総会で茨城県労働者福祉中央会に名称を変更、社団法人の認可を得る
○日立平和台霊園設立
○労働者福祉研究会に取り組む

1970 [昭和 45] 年度
○日立平和台霊園起工式
○茨城労働金庫本店新築落成

1971 [昭和 46] 年度
○労信協づくり始まる

1972 [昭和 47] 年度
○労信協発足
未組織対策の一環として茨城県労働者信用基金協会が発足

労金創立 10 周年記念祝賀会

茨城県で開催された全国労スポ大会

日立平和台霊園創立総会

社会情勢

1963　○茨城県民の歌制定
1964　○東海道新幹線開業（64.10.1）
　　○東京オリンピック開催（64.10.10 ～ 24）
1969　○鹿島港開港（69.8.1）
　　○大阪万博開催（70.3.14 ～ 9.13）
1971　○札幌オリンピック開催（72.2.3 ～ 13）

1963-1972

昭和 48 年度～昭和 57 年度

1973［昭和 48］年度
○余暇利用対策会議つくる
　労働者保養施設に関する意見書を知事に提出
○第 1 回労働者囲碁大会
○労働金庫 20 周年記念式典
○労住協 2,000 戸達成記念式典

1974［昭和 49］年度
○地区労福協の結成
　県内トップをきって古河、総和地区労福協を結成
○「いばらき労働福祉」創刊号発行
　「労働福祉ニュース」から新たに「いばらき労働福祉」に機関紙名を変更
○茨城県余暇活用事業団発足
　労福協より 3 名が役員に就任
○茨城県消団連結成総会

1976［昭和 51］年度
○「やみぞ」誕生
　余暇活用事業団が取り組んだ働く者の保養施設「やみぞ」が大子町に誕生
○県労連結成 30 周年

1979［昭和 54］年度
○育英基金発足
　労働者が低利な育英資金を利用できるよう、茨城県労働者育英基金を設立
○労働金庫研修センター「くにみ」竣工式

1982［昭和 57］年度
○県南地区労福協結成
○福祉事業団体合同会議
　各団体理事会後、学習会を実施
○労働金庫 30 周年史発刊

保養施設「やみぞ」大子町に誕生

平和台霊園の除幕式

県南地区労福協設立

労働者囲碁大会の様子

1973-1982

社会情勢

1973　○筑波大学開学
　　○第 1 次オイルショック
1974　○茨城国体（テーマ＝水と緑のまごころ国体）開催される（74.9.8 ～）
1975　○ロッキード事件（76.2 ～）

昭和 58 年度～平成 4 年度

1983 [昭和 58] 年度
○福祉基金協会設立
　労働者福祉対策強化に向け茨城県労働者福祉基金協会を設立
○県北地区労福協結成
○労福協結成 20 周年記念レセプション

1984 [昭和 59] 年度
○労福中央会筑波ビル起工
○労済会館落成

1985 [昭和 60] 年度
○福祉事業団体利用のハンドブック作成
○日立平和台霊園別館落成

1986 [昭和 61] 年度
○千葉県労福協との研修交流会
○全労済土浦支所開設
○労金事務センター竣工式

1987 [昭和 62] 年度
○第 1 回勤労者チャリティゴルフ大会
○水郡地区労福協結成

1988 [昭和 63] 年度
○水戸地区労福協結成
○労スポ検討委員会設置
　組織・財政両面にわたる健全な方向を求めて検討

1989 [平成 1] 年度
○日立地区労福協結成
○中小企業勤労者サービスセンター
　設立に向けて動きだす

1990 [平成 2] 年度
○組織名変更
　第 28 回総会で設立当初の茨城県労働者福祉協議会に名称を変更
○古河地区労福協結成

1991 [平成 3] 年度
○勤労者福祉会館建設委員会設置
　労働界、事業団体 20 名で構成
○新規事業検討委員会審議
　労福協が求める新規事業に対する諮問機関

1992 [平成 4] 年度
○茨城県勤労者美術展支援

全労済会館（4 階建ビル）水戸駅南に建設

第 1 回チャリティゴルフ大会の懇親会

チャリティボウリング大会

労住協県北営業所が勝田に出店

社会情勢

1984　○大洗鹿島線開通（85.3.14）
　　○つくば万博開催（85.3.17 ～ 9.16）
1987　○国鉄分割民営化（87.4.1）
　　○常磐自動車道が県内全線開通（88.3.24）
1991　○ひたち海浜公園一部開園（91.10 ～）

1983-1992

平成 5 年度～平成 14 年度

1993［平成 5］年度
○『労福協創立 30 周年記念誌』発行
○平成 6 年度対県要請
○第 30 回労働者スポーツ祭典（軟式野球・バレーボール・卓球・囲碁将棋）
○1993 年度勤労者福祉研究集会（以後毎年開催）

1994［平成 6］年度
○水戸市勤労者福祉サービスセンター設立
○「バングラデッシュ友好教育基金」現地調査
○新規事業開発実行委員会設置
○統一ボランティア活動「霞ケ浦湖岸一斉清掃」
○阪神大震災救援活動（義援金カンパ・ボランティア派遣）

1995［平成 7］年度
○「はたらく男女のふれあいパーティー」共同開催始まる
○第 1 回労働福祉会館建設検討委員会
○第 32 回労働者スポーツ祭典（軟式野球・綱引き・マラソン・囲碁将棋）
○統一ボランティア活動「霞ケ浦湖岸一斉清掃」（3 ヵ所 669 名参加）
○共同ショップ「ラウェル牛久」竣工

1996［平成 8］年度
○ラウェルいばらきフェア 1996（第 1 回勤労者の祭典、ひたちなか市開催）
○第 45 回勤労者美術展開催（労福協受託事業初年度）
○労福協結婚相談事業検討開始

1997［平成 9］年度
○ラウェルいばらきフェア 1997（神栖町開催）
○第 34 回労働者スポーツ祭典（第 1 回チャリティゴルフ・軟式野球・綱引き・マラソン）
○組織の検討委員会始まる

1998［平成 10］年度
○ひたちなか市勤労者福祉サービスセンター設立
○「いばらき結婚相談センター」結成準備委員会発足
○記録映画「住民が選択した町の福祉」上映会
○ラウェルいばらきフェア 1998（土浦市開催）
○オーストラリア視察団派遣

1999［平成 11］年度
○ラウェルいばらきフェア 1999（総和町開催）
○いばらき結婚相談センター開設
○茨城県労働総合相談センター開設（労福協が受託運営）
○コープあい、ひたちコープ統合調印式
○新労働福祉会館建設のため、仮事務所に移転（旧茨城県自治会館）
○共同ショップ「ラウェル鹿嶋」竣工

2000［平成 12］年度
○生協ハイコープ誕生
○第 37 回労働者スポーツ祭典（第 4 回チャリティゴルフ大会）
○21 世紀労福協あり方検討委員会発足
○高齢者福祉問題検討委員会発足
○ラウェルいばらきフェア 2000（日立市開催）
○新労働福祉会館竣工

2001［平成 13］年度
○中央ろうきん誕生
○21 世紀労福協あり方検討委員会中間報告
○ラウェルいばらきフェア 2001（鹿嶋市開催）

2002［平成 14］年度
○（社）茨城県労働者福祉会館が解散し、財産・事業を（財）茨城県労働者福祉基金協会へ移管
○ラウェルいばらきフェア 2002（土浦市開催）

共同ショップ「ラウェル牛久」が竣工

労働者スポーツ祭典（マラソン）

第 51 回勤労者美術展

1993-2002

社会情勢

1994　○阪神大震災（95.1.17）
　　○地下鉄サリン事件発生（95.3.20）
1997　○長野オリンピック開催（98.2.7 ～ 22）
1998　○新茨城県庁舎竣工（99.3.24）
2001　○アメリカで同時多発テロ事件発生（01.9.11）
2002　○ FIFA ワールドカップ日韓大会（02.5.31 ～ 6.30）

平成 15 年度～平成 25 年度

2003 [平成 15] 年度
○労福協ホームページ開設
○「21 世紀あり方検討委員会答申」に基づく労福協改革を理事会で方針化
○労働者スポーツ協会理事会にて、協会を解散し、労福協が事業を継承することを決定
○県西地域労福協を下館、水海道、古河猿島の 3 地域労福協に再編
○ラウェルいばらきフェア 2003「下館市」 1996 年に始まったフェアも 2 巡したことから当回をもって終了

2004 [平成 16] 年度
○「ライフプランセミナー」スタート
○労福協 40 周年記念誌発刊
○茨城県労働総合相談センター廃止

2005 [平成 17] 年度
○「いばらき労働相談センター」開設
○ライフプランセミナー開催（延べ 4 回）
○茨城県労働学院開講（延べ 8 日間）

2006 [平成 18] 年度
○「いばらき出会いサポートセンター」を県と共同で設立（6 月 3 日開所式）
○多重債務問題学習会を開催
○マリッジサポーター研修会
○第 55 回勤労者美術展が当年をもって終了

2007 [平成 19] 年度
○全労済茨城県本部が創立 50 周年式典を開催
○生協ハイコープが「生活協同組合パルシステム茨城」に名称変更

2008 [平成 20] 年度
○東部ブロック労福協 2008 年度代表者会議を水戸で開催
○労働組合の会計税務に係る税務研修会を開催
○「つくば市民大学」をろうきんつくばビルで開校
○出会いサポートセンターが結婚支援研修会を開催

2009 [平成 21] 年度
○緊急労働相談事業（県委託事業）への取組み開始
○茨城県労働学院開講（当年で委託事業終了）
○土浦・鹿行・下館の 3 地域労福協で NPO 学習会開催

2010 [平成 22] 年度
○全労済、共済ショップつくば店をオープン
○出会いサポートセンター、結婚応援セミナーを開催
○いばらき労働福祉講座開講
○出会いサポートセンター、成婚 500 組で記念式典開催
○県労信協が日信協に事業統合
○第 47 回勤労者スポーツの集い〈第 1 回ボウリング大会〉

2011 [平成 23] 年度
○鹿行地域労福協が潮来市で災害ボランティア。東日本大震災の復興に向けて、他の労福協団体も様々に取組む
○婚活フォーラム in 茨城開講
○ライフサポートセンターいばらきがプレオープン
○日立平和台霊園本館、リニューアル再開

2012 [平成 24] 年度
○国連提唱の国際協同組合年にあたり、「福島の子保養プロジェクト」やシンポジウムなどを実施
○「労働相談センター」窓口業務を終了
○ライフサポートいばらき本格稼働

2013 [平成 25] 年度
○出会いサポートセンター　カップル誕生 1000 組に
○ろうきん水戸支店リニューアルオープン
○「協同組合ネット茨城」発足　生協・農協・漁協・労福協が連携
○創立 50 周年記念事業（県児童福祉施設協議会に寄付　等）

勤労者福祉研究集会

いばらき出会いサポートセンター開所式

勤労者スポーツの集い（ボウリング大会）

社会情勢
2003　○新型肺炎（SARS）（03.4）
2004　○ NHK 県域デジタル放送開始（04.10）
2005　○つくばエクスプレス開業（05.8）
2006　○平成の大合併、32 市 10 町 2 村になる（06.3）
2007　○郵政民営化スタート（07.10）
2008　○米証券大手リーマン・ブラザーズが破綻（08.9）
2010　○東日本大震災・原発事故（21.3）

2003-2013

茨城労福協のこの10年

2014

●ライフサポートセンターいばらき：相談件数／ 766 件（累計／1960 件）
●いばらき出会いサポートセンター：会 員 数／2994 名(男性 1780 名、女性 1214 名)
成 婚 数／ 204 組

[平成26年度]

●解釈改憲で集団的自衛権容認。御嶽山噴火。米・キューバが国交正常化。

4月 1日	●公益法人制度改革により、社団法人から「一般社団法人 茨城県労働者福祉協議会」に移行
5月23日	●第 1 回定時総会開催 …①
5月26日	●生協パルシステム 平成 26 年度消費者支援功労者表彰「内閣総理大臣表彰」を受賞 …②
6月10日	●協同組合ネットいばらき 茨城大学ボランテイア講座「協同組合論」 中央労金茨城県本部 講師
6月20日より	●東部ブロック労福協 第 8 期福祉リーダー塾開講 茨城労福協より 3 名の若手リーダーが参加
8月 4日～ 5日	●東部ブロック労福協 「ライフサポート事業経験交流」水戸市開催 ライフサポート事業の相談員 30 名が意見交換
8月17日～	●全労済 地区共済会「加入者のつどい」県内 6 カ所で開催
9月10日～10月15日	●労働福祉講座 開講（下館地域労福協 全 6 講座:62 名の受講者）
10月 3日～10月 7日	●連合茨城 第 31 次救援衣類を送る運動 仕分け、発送のボランティア活動
10月15日	●第 51 回勤労者スポーツの集い 第 18 回チャリティゴルフ大会 水戸ゴルフ倶楽部にて 200 名参加
10月25日	●労働者自主福祉シンポジウム開催 …③
11月 5日	●勤労者福祉研究集会 ～柔道から学んだこと スポーツから考える男女共同参画～ …④
11月19日	●いばらき出会いサポートセンターが内閣府より「子どもと家族・若者応援団表彰」を受賞 2006 年の開設以降成婚数 1313 組の実績を達成する。
11月20日	●茨城県に政策制度要請を実施 和田会長から楠田副知事に要請書を手渡す
11月27日	●組合会計税務セミナー
1月 8日	●連合茨城 2015 年新春のつどい …⑤
1月20日	●茨城大学ボランテイア講座「協同組合論」 中央労金茨城県本部 講師
1月31日	●勤労者スポーツの集い 第 5 回チャリティボーリング大会
3月 6日	●連合茨城 国際女性デー
3月21日	●古河猿島労福協「親子ふれあい教室」開催 …⑥

①和田会長挨拶

②「内閣総理大臣表彰」を受賞

③会場風景

④講師 山口 香 氏

⑤ 2015 年新春のつどい

⑥ふれあい会場風景

2015

●ライフサポートセンターいばらき：相談件数／ 928 件（累計／2888 件）
●いばらき出会いサポートセンター：会 員 数／2710 名(男性 1628 名、女性 1082 名)
成 婚 数／ 190 組

[平成27年度]

●安全保障関連法成立。外国人観光客激増「爆買い」も。過激派組織「イスラム国」邦人殺害

5月22日	●第 2 回定時総会
6月16日	●茨城大学ボランテイア講座「協同組合論」
7月 4日	●協同組合ネットいばらき「第 1 回協同組合シンポジウム」開催 …①
7月28日	●連合茨城　地域活性化に向けたフォーラム開催 …②
9月13日	●茨城ユニセフ創立 5 周年
9月24日	●常総・石下　水害被災 …③
10月 1日	●労働福祉講座 第 1 回開講
10月 5日	●連合茨城　第 32 次救援衣類を送る運動 …④
10月14日	●勤労者スポーツの集い　第 19 回チャリティゴルフ大会
11月12日	●県児童福祉施設協議会にチャリティ金を寄贈
11月16日	●茨城県に政策制度要請を実施 和田会長、山﨑・打越副会長による要請
11月17日	●勤労者福祉研究集会 ～食あれば楽あり～ …⑤
11月26日	●税務研修会 …⑥
12月 4日	●第 2 回地域労福協二役会議　6 月・12 月年 2 回開催
1月 8日	●連合茨城 2016 新春のつどい
1月30日	●勤労者スポーツの集い　第 6 回チャリティボーリング大会 …⑦
2月20日	●茨城県労福協主催「奨学金問題対策フォーラム」開催 …⑧ ～若者を苦しめる奨学金問題の解決を！～
3月 8日	●連合茨城　国際女性デー

①会場風景

②連合　古賀伸明 会長

③被災状況

④仕分け、発送のボランティア活動

⑤講師　小泉武夫 氏

⑥関口税理士

⑦第 6 回チャリティボーリング大会

⑧奨学金問題対策フォーラム

2016

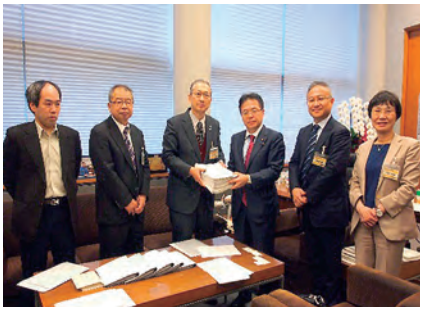
●ライフサポートセンターいばらき：相談件数／1053 件（累計／3941 件）
●いばらき出会いサポートセンター：会 員 数／2534 名（男性 1534 名、女性 999 名）
成 婚 数／ 219 組

[平成28年度]

●震度 7 の熊本地震発生。日銀がマイナス金利初導入。英国が EU 離脱決定。

3月17日、23日	●パルシステム茨城　TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）について組合員と共に考える学習会を開催　…①
3月22日	●中央労福協「給付型奨学金制度の導入・拡充と教育費負担の軽減を求める署名」を取り組む。（301 万筆の署名を内閣総理大臣に提出。）　…②
5月16日～10月30日	●連合茨城と共に 4 月 14 日発生した熊本地震に対する義援金カンパを実施　…③ 県労福協でお預かりした義援金 311,176 円は連合茨城に寄託した。
5月27日	●第 3 回定時総会
7月　1日	●「全国結婚応援フォーラム in いばらき」茨城県と共同開催 いばらき出会いサポートセンター設立 10 周年を記念して、県内外から 1500 名の参加を得て開催。
9月～2017年　5月	●全国キャンペーン「2016 生活底上げ・福祉強化キャンペーン」展開～奨学金制度改善へ あなたの声を聞かせてください～ 給付型奨学金制度の創設等求めるアピールに全国から 4939 団体、個人 7020 人から賛同を得る。「あなたの声を聞かせてください」全国から 1003 件のメッセージが寄せられる。3 月 31 日日本学生支援機構法改正案が全会一致で成立。給付型奨学金制度の創設が実現
9月30日～10月　4日	●連合茨城　第 33 次救援衣類を送る運動　…④
10月　6日	●茨城県に政策制度要請を実施　…⑤
10月19日～11月16日	●労働福祉講座を全 5 回、鹿嶋市で開催。
10月20日	●勤労者スポーツの集い　第 20 回チャリティゴルフ大会
10月26日	●ライフプランセミナー 東電労組：武藤講師
11月16日	●勤労者福祉研究集会 ～江戸の暮らしに学ぶ～　…⑥
11月29日	●第 2 回地域労福協二役会議　6 月・11 月年 2 回開催
1月14日	●茨城大学ボランテイア講座「協同組合論」 中央労金茨城県本部　講師
1月28日	●勤労者スポーツの集い　第 7 回チャリティボーリング大会
3月13日	●茨城県児童福祉施設協議会にチャリティー金を寄贈

①「TPP の内容と今後の私たちの暮らしの行方」学習会


②神津会長から世耕副官房長官へ提出

③熊本地震

④服の配布を受ける子どもたち

⑤和田会長、山崎副会長による楠田副知事に要請

⑥講師　竹内　誠 氏

2017

●ライフサポートセンターいばらき：相談件数／1066 件（累計／5007 件）
●いばらき出会いサポートセンター：会 員 数／2493 名（男性 1500 名、女性 993 名）
成 婚 数／ 155 組

[平成29年度]

●トランプ米政権発足。中国、習近平「1 強」確立

4月20日	●ライフプランセミナー開講 日立労組大みか支部、フレクストロニクス労組、全タイヨー労組、クラレ労組、労金友の会で開催。
5月26日	●第 4 回定時総会
6月 6日	●中央労福協　全国研究集会 in 横浜 ～どうする日本の貧困問題！求められる地域の役割とは？～
6月21日	●第 1 回地域労福協二役会議　6 月・11 月年 2 回開催
6月23日	●沖縄平和集会　参加　…①
7月18日	●協同組合ネットいばらき主催茨城大学寄付講座　…②
7月19日	●東部ブロック労福協幹事会（横須賀市）
8月25日	●協同組合ネットいばらき主催　茨城大学学習支援事業
9月 5日	●東部ブロック労福協幹事会（糸魚川市）
9月20日以降	●労働福祉講座開講　…③ 県内 10 地域労福協にて開催。
9月29日	●連合茨城　第 34 次救援衣類を送る運動 約 42 トンの衣類の寄贈を受け、タイ、ラオスに送付された。
10月19日	●茨城県に政策制度要請を実施
11月13日	●勤労者福祉研究集会 ～再生不可能社会 NO　奨学金が日本を滅ぼす～　…④
2月 2日	●労働者福祉・リーダー養成ワークショップ開催
2月13日	●東部ブロック労福協幹事会　茨城開催　…⑤
2月17日	●勤労者スポーツの集い　第 8 回チャリティボーリング大会
2月22日～23日	●大分県労福協の霊園事業、ライフサポート事業等を視察　…⑥
3月 8日	●連合茨城　国際女性デー参加
3月13日	●茨城県児童福祉施設協議会にチャリティー金を寄贈
3月18日	●子どもの居場所支援、学習支援、子ども食堂　茨城ネットワーク会議　参加

①沖縄平和集会

②講師　中央労働金庫茨城県本部

③労働福祉講座風景

④講師　大内裕和 氏

⑤つくば市 JAXA 視察

⑥視察団参加者

2018

●ライフサポートセンターいばらき：相談件数／ 969 件（累計／5976 件）
●いばらき出会いサポートセンター：会 員 数／2538 名（男性 1546 名、女性 992 名）
成 婚 数／ 151 組

[平成31年度]

●「働き方改革」関連法整備（70 年ぶりの労働法制の大改正）、「18 歳成人」改正民法成立

4月20日	●ライフプランセミナー開講 日立金属労組日立支部、日立労組大みか支部、クラレ労組、日立化成労組下館支部で開催
5月25日	●第 5 回定時総会
6月19日	●労働福祉講座開講　…① 県内 10 地域労福協にて開催。
6月28日	●拡大役職員研修会　～労働運動と労働者福祉運動の理念と歴史～　…②
7月24日	●協同組合ネットいばらき主催茨城大学講座「協同組合論」　…③
10月17日	●勤労者スポーツの集い　第 21 回チャリティゴルフ大会　…④
10月18日	●協同組合ネットいばらき　クリーンキャンペーン　…⑤
10月25日	●茨城県に政策制度要請を実施 内山裕会長から宇野副知事へ要請
11月10日	●勤労者福祉研究集会　…⑥ ～子供の貧困　わたしたちにできること～
11月18日	●いばらき出会いサポート　…⑦ 茨城結構応援イベント「いばキュンフェスタ 2018」
2月 1日	●労働福祉・リーダー養成ワークショップ　…⑧
2月14日	●静岡県労福協　ライフサポート事業視察
2月16日	●勤労者スポーツの集い　第 9 回チャリティボーリング大会
2月25日	●食品ロス対策会議開催
3月27日	●茨城県児童福祉施設協議会にチャリティー金を寄贈

①労働福祉講座開講

②講師　高橋　均 氏

③講師　中央労働金庫茨城県本部

④第 21 回チャリティゴルフ大会

⑤クリーンキャンペーン

⑥講師　湯浅　誠 氏

⑦いばキュンフェスタ 2018

⑧分散会の様子

2019

●ライフサポートセンターいばらき：相談件数／ 831 件（累計／6807 件）
●いばらき出会いサポートセンター：会 員 数／2390 名（男性 1488 名、女性 902 名）
成 婚 数／ 149 組

[令和元年度]

●「令和」に改元、天皇陛下が即位。消費税 10%スタート

5月9日	●ライフアップセミナー …①
5月24日	●第 6 回定時総会 …②
6月～2022年 2月	●労働福祉講座 …③ 県内 10 地域労福協で開催。
10月 4日	●連合茨城 第 36 次救援衣類を送る運動 実施 …④
10月 5日	●茨城を食べようキャンペーンイン鹿嶋
10月26日～11月30日	●台風 19 号による大子町の水害復旧に連合茨城ボランティアチームを派遣。…⑤
10月30日	●茨城県に政策制度要請を実施 …⑥
11月15日	●勤労者福祉研究集会 ～下流老人問題と 8050 問題～ …⑦
11月22日	●会計税務研修会
11月26日	●第 2 回地域労福協二役会議 6 月・11 月年 2 回開催
2月 7日	●労働者福祉・リーダー養成ワークショップ 開催
2月15日	●勤労者スポーツの集い 第 10 回チャリティボウリング大会
3月15日	●連合茨城 新型コロナウィルスに伴う緊急労働相談を実施 …⑧

①日立労組大みか支部開催風景

②第 6 回総会風景

③県北労福協 開講風景

④第 36 次救援衣類を送る運動

⑤水害復旧ボランティア

⑥内山裕会長から宇野副知事へ要請

⑦講師 藤田孝典 氏

⑧

2020

●ライフサポートセンターいばらき：相談件数／ 916 件（累計／7723 件）
●いばらき出会いサポートセンター：会 員 数／2120 名（男性 1360 名、女性 760 名）
成 婚 数／ 122 組

[令和2年度]

●新型コロナウィルス、世界各地に広がる。緊急事態宣言発令

5月29日	**●第 7 回定時総会** 新型コロナウィルス感染症防止対策により書面決議及び書面報告の方式で実施
6月	**●新型コロナ感染症予防対策として茨城県児童養護福祉施設にマスクを寄贈する。** …①②
9月	**●フードバンク茨城水戸支部にフードドライブで集めた食品を寄贈** …③
9月18日	**●第 2 回事業団体連絡会議** …④ 7 月・9 月・12 月年 3 回開催
11月 6日	**●奨学金問題全国一斉相談会開催** …⑤
11月18日	**●茨城県に政策制度要請を実施** …⑥
11月27日	**●第 2 回地域労福協二役会議　6 月・11 月年 2 回開催** …⑦
3月27日	**●茨城県児童養護施設協議会にチャリティー金を寄贈** …⑧

県労福協の主要な公益事業である労働福祉講座、勤労者福祉研究集会、リーダー養成ワークショップ、税務研修会やチャリティゴルフ大会・チャリティボウリング大会等、集合形式の事業･イベントは、新型コロナ感染症の拡大により中止となった。

① JAM からマスク受託

②情報労連よりマスク受託

③水戸地協フードドライブ品寄贈

④第 2 回事業団体連絡会議

⑤電話相談会風景

⑥内山裕会長から上善副知事へ要請

⑦第 2 回地域労福協二役会議

⑧児童養護施設　日照養徳園（日立市）

2021

●ライフサポートセンターいばらき：相談件数／1139 件（累計／8862 件）
●いばらき出会いサポートセンター：会 員 数／2290 名（男性 1515 名、女性 775 名）
成 婚 数／ 135 組

[令和3年度]

●新型コロナワクチン接種開始。コロナ禍で東京五輪・パラリンピック、1 年遅れで開催

4月27日	●第 51 回理事会
5月28日	●第 8 回定時総会 …①
6月21日	●第 1 回地域労福協二役会議　6 月・11 月年 2 回開催
7月～2022年2月	●労働福祉講座　全 6 講座リモート開催 …②
8月～2022年 3月	●地域労福協の運営に関する検討会議　全 6 回開催 …③ 県労福協と地域労福協の位置付け、役割分担、組織運営及び活動内容などを明らかにすることを目的とする「地域労福協の運営業務に関する基本方針」を作成した。
11月 1日	●茨城県に政策制度要請を実施 …④
11月 8日	●労組会計　税務研修会 …⑤
11月10日	●勤労者福祉研究集会 …⑥ ～東日本大震災から 10 年を迎えて～
12月 9日	●事業団体連絡会議　7 月・9 月・12 月年 3 回開催 連合茨城・中央労金・こくみん共済 coop・パルシステム茨城 栃木・日立平和台霊園・茨城県労働者福祉基金の連携強化を目的とする。
3月27日	●茨城県児童福祉施設協議会にチャリティー金を寄贈 …⑦

①第 8 回総会風景
実参加とリモート参加の Hybrid 方式

②第 6 回講座風景

③地域労福協の運営に関する検討会議

④内山裕会長から上善副知事へ要請

⑤労組会計　税務研修会

⑥会場参加と YouTube ライブ配信の Hybrid 方式で開催

⑦チャリティー事業の浄財を寄付

2022

●ライフサポートセンターいばらき：相談件数／1053 件（累計／9915 件）
●いばらき出会いサポートセンター：会 員 数／3373 名(男性 2038 名、女性 1335 名)
成 婚 数／ 144 組

[令和4年度]

●ロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻

5月27日	●第 9 回定時総会 …①
5月17日	●ライフプランセミナー開催 …②
6月～ 1月	●労働福祉講座 全 8 回リモート開催 …③
6月 2日	●中央労福協 全国研究集会 in 静岡 ～“TSUNAGARI” 世代を超えて～
6月28日	●第 1 回地域労福協二役会議
7月28日	●拡大役職員研修会開催 …④ ～職場・地域で自主福祉運動を推進しよう～
8月18日	●労働者福祉・リーダー養成ワークショップ開講 …⑤
11月 2日	●茨城県に政策制度要請を実施 …⑥
11月 8日	●労組会計 税務研修会
11月 9日	●勤労者福祉研究集会 …⑦ ～学費と奨学金問題の現状と課題～
11月29日	●第 2 回地域労福協二役会議
11月30日	●東部ブロック第 57 回定期総会 茨城にて開催
12月 1～ 2日	●東部ブロック役職員研修 …⑧
3月27日	●茨城県児童福祉施設協議会にチャリティー金を寄贈 チャリティー事業の浄財を寄付

①第 9 回総会風景
実参加とリモート参加の Hybrid 方式

②日立労組土浦支部 開催風景

③第 4 回講座風景 講師 小室大輔 氏

④講師 山本幸司 氏

⑤高橋均講師と 2022 年度受講者

⑥内山裕会長から榊原産業戦略部長へ要請

⑦対談
岩重佳治弁護士と畑中一也茨城放送報道デスク

⑧ 東部ブロック研修参加者

2023

2023 年度 8 月末現在

●ライフサポートセンターいばらき：相談件数／ 373 件（累計/10265 件件）
●いばらき出会いサポートセンター：会 員 数／3171 名(男性 1896 名、女性 1275 名)
成 婚 数／ 67 組

[令和5年度]

●新型コロナ「5 類」引下げ、処理水海洋放出開始（東電福島第 1 原発）

5月 9日	●ライフサポートセンターいばらき「くらし何でも相談」累計 1 万件達成
5月18日・25日	●ライフプランセミナー開催 …①
5月26日	●第 10 回定時総会 …②
6月 9～10日	●中央労福協 全国研究集会 in 愛媛 …③
6月15～16日	●東部ブロック協議会 福祉リーダー塾開催 in 静岡 …④
6月27日	●第 1 回地域労福協二役会議 …⑤
7月 7日	●第 1 回事業団体連絡会議
7月18～19日	●東部ブロック協議会 …⑥ 幹事会、事業団体責任者会議 in 神奈川
7月25日	●拡大役職員研修会「協同労働について」 …⑦
8月23日	●労働者福祉・リーダー養成ワークショップ …⑧
9月14日	●第 2 回事業団体連絡会議
9月15～16日	●東部ブロック協議会 ライフサポート経験交流 in 新潟
9月28日	●中央労福協 地方労福協会議（Web 会議）

①プロテリアル労働組合にて開催

②定時総会風景

③全国研究集会 in 愛媛

④福祉リーダー塾開催 in 静岡

⑤第 1 回地域労福協二役会議

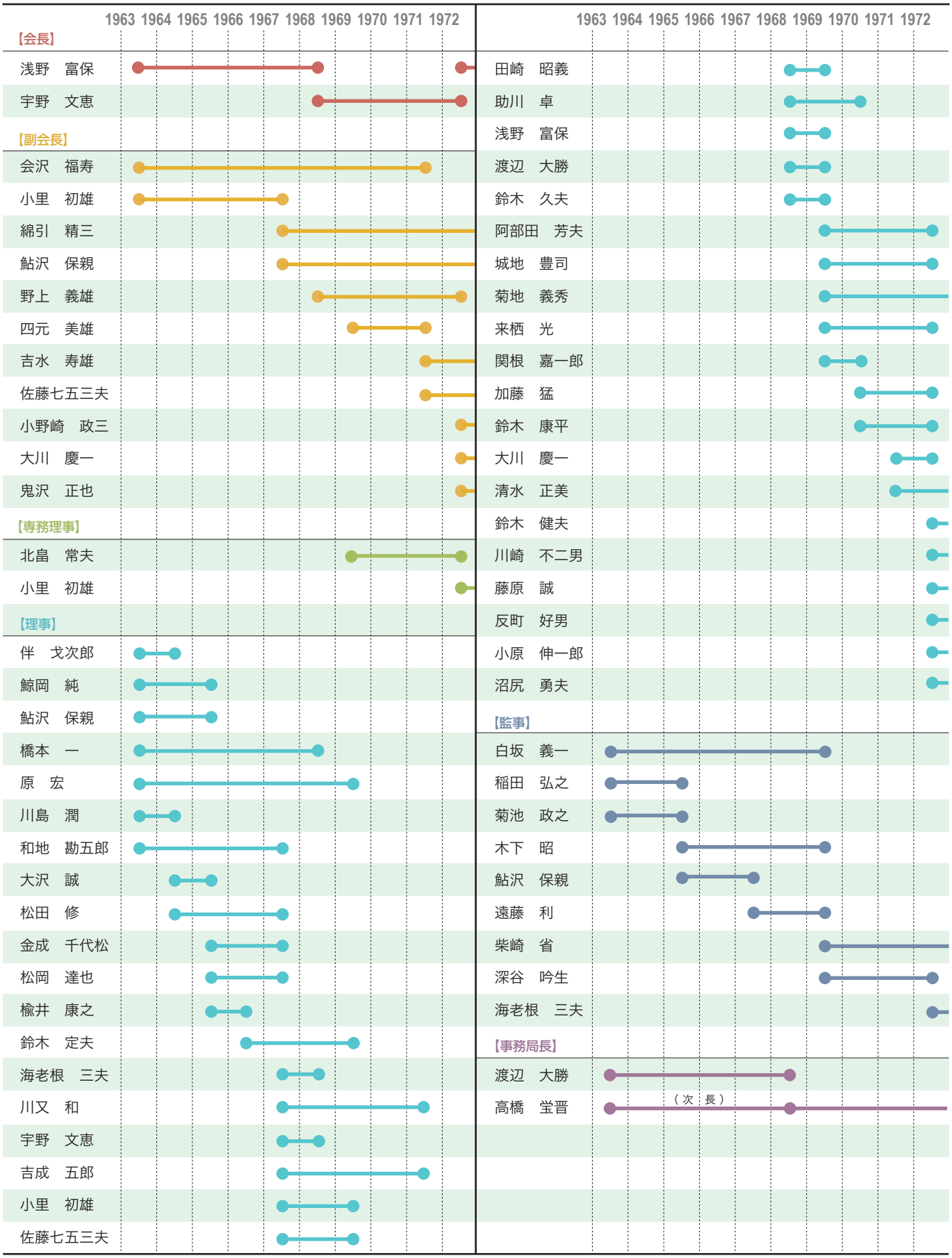
⑥東部ブロック協議会

⑦拡大役職員研修会

⑧労働者福祉・リーダー養成ワークショップ

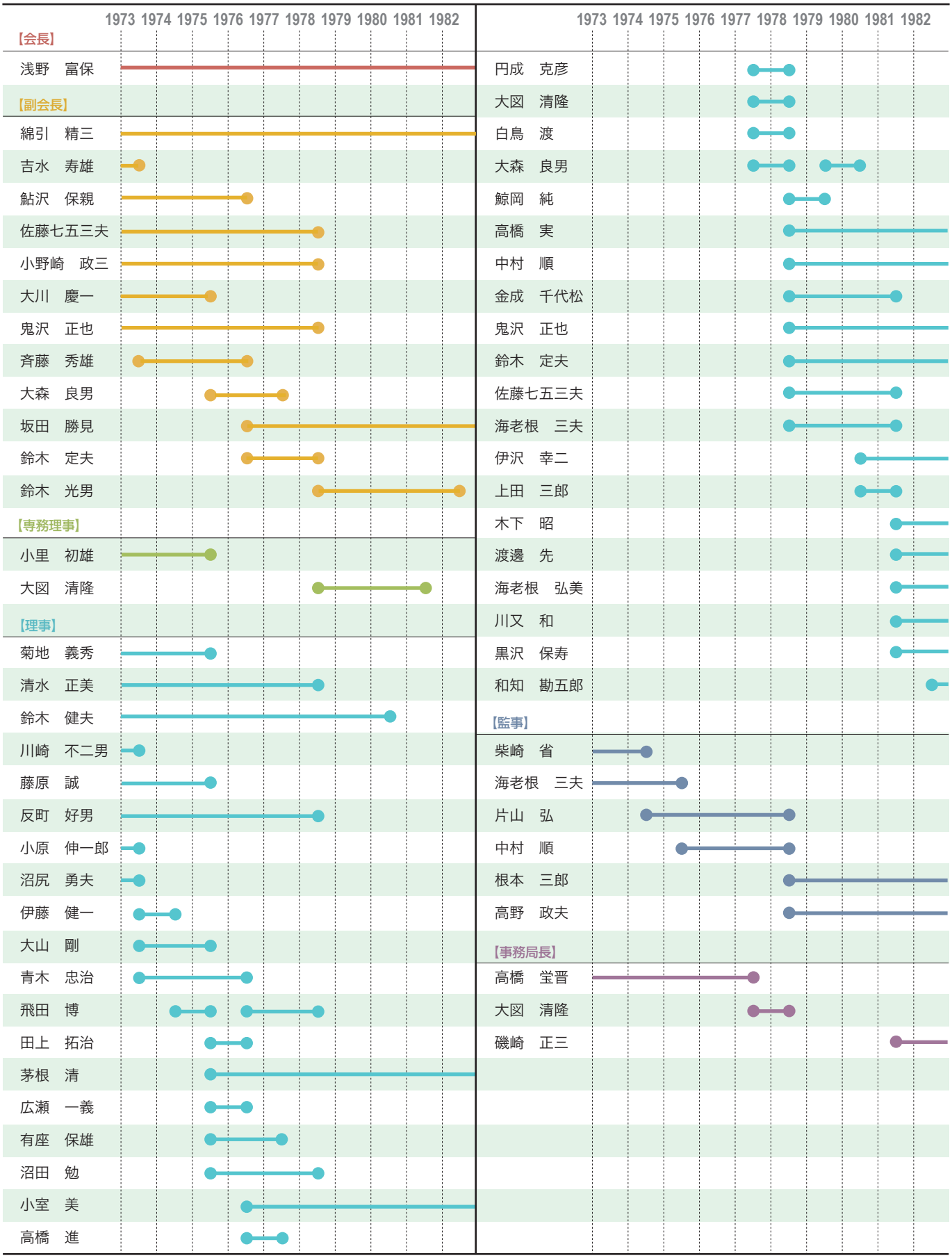
労福協歴代役職員一覧

[1963-1972]

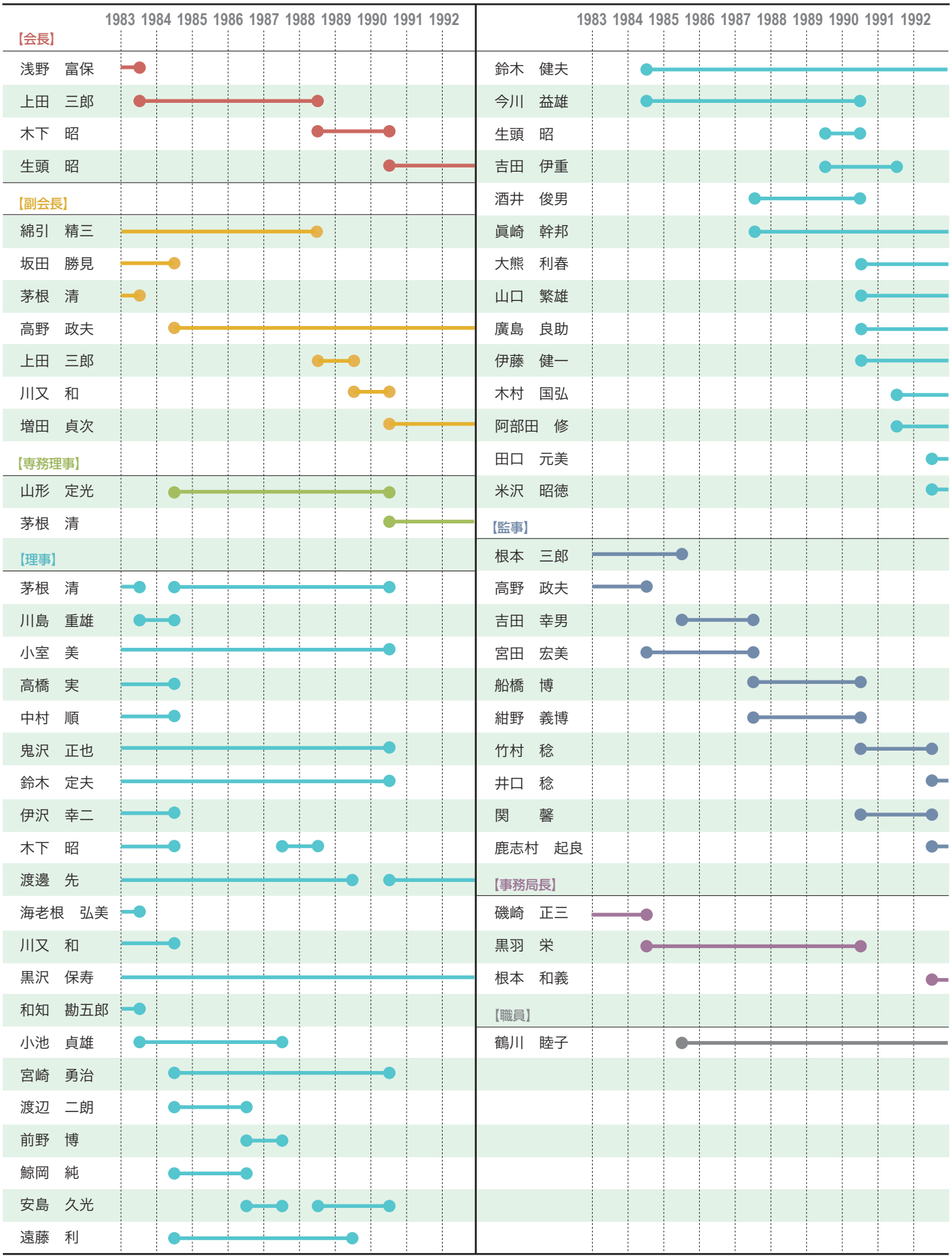


[1973-1982]

年度（4月～3月）

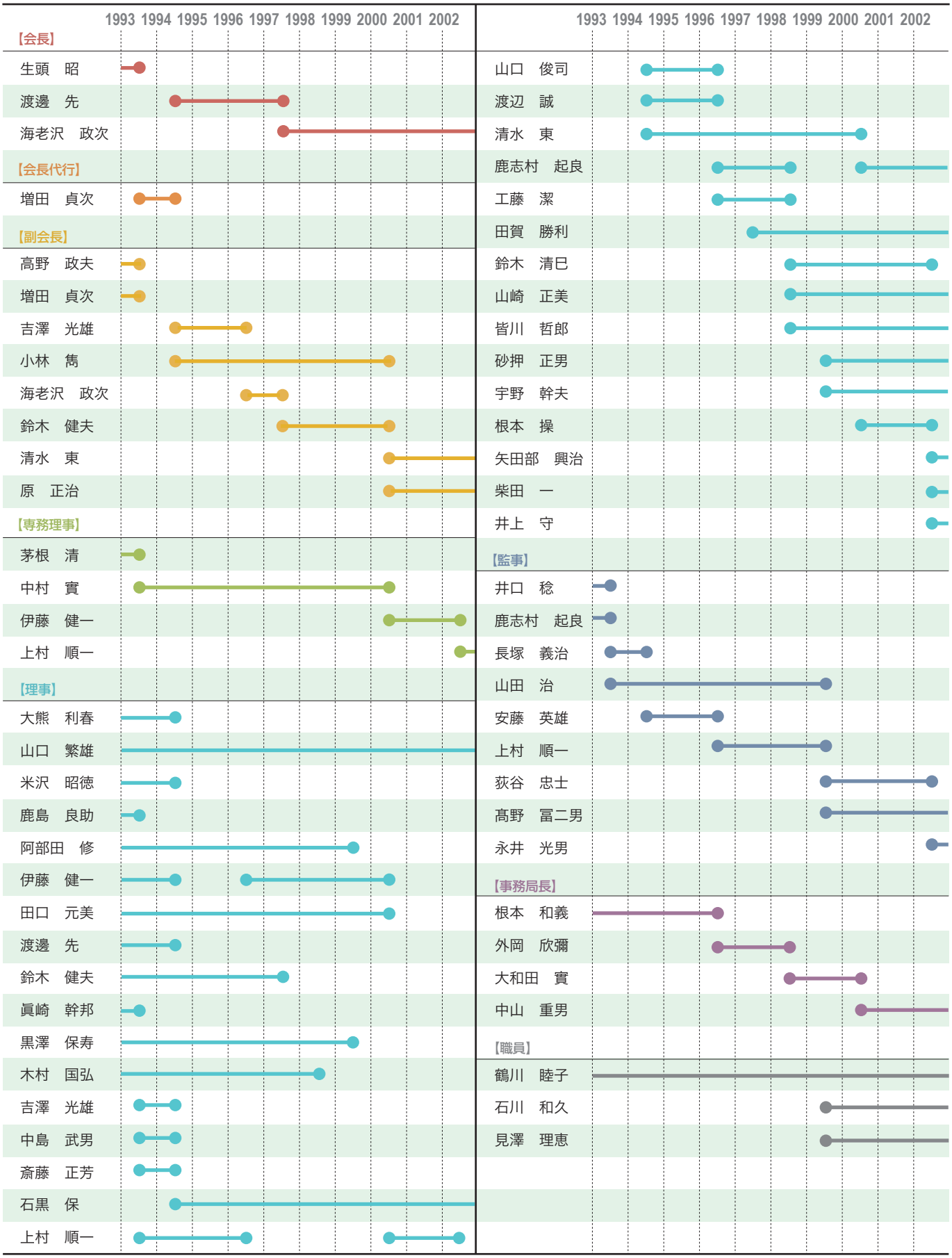


[1983-1992]


1983 1984 1985 1986 1987 1988 1989 1990 1991 1992
【会長】
浅野　富保
上田　三郎
木下　昭
生頭　昭
【副会長】
綿引　精三
坂田　勝見
茅根　清
高野　政夫
上田　三郎
川又　和
増田　貞次
【専務理事】
山形　定光
茅根　清
【理事】
茅根　清
川島　重雄
小室　美
高橋　実
中村　順
鬼沢　正也
鈴木　定夫
伊沢　幸二
木下　昭
渡邊　先
海老根　弘美
川又　和
黒沢　保寿
和知　勘五郎
小池　貞雄
宮崎　勇治
渡辺　二朗
前野　博
鯨岡　純
安島　久光
遠藤　利
鈴木　健夫
今川　益雄
生頭　昭
吉田　伊重
酒井　俊男
眞崎　幹邦
大熊　利春
山口　繁雄
廣島　良助
伊藤　健一
木村　国弘
阿部田　修
田口　元美
米沢　昭徳
【監事】
根本　三郎
高野　政夫
吉田　幸男
宮田　宏美
船橋　博
紺野　義博
竹村　稔
井口　稔
関　馨
鹿志村　起良
【事務局長】
磯崎　正三
黒羽　栄
根本　和義
【職員】
鶴川　睦子

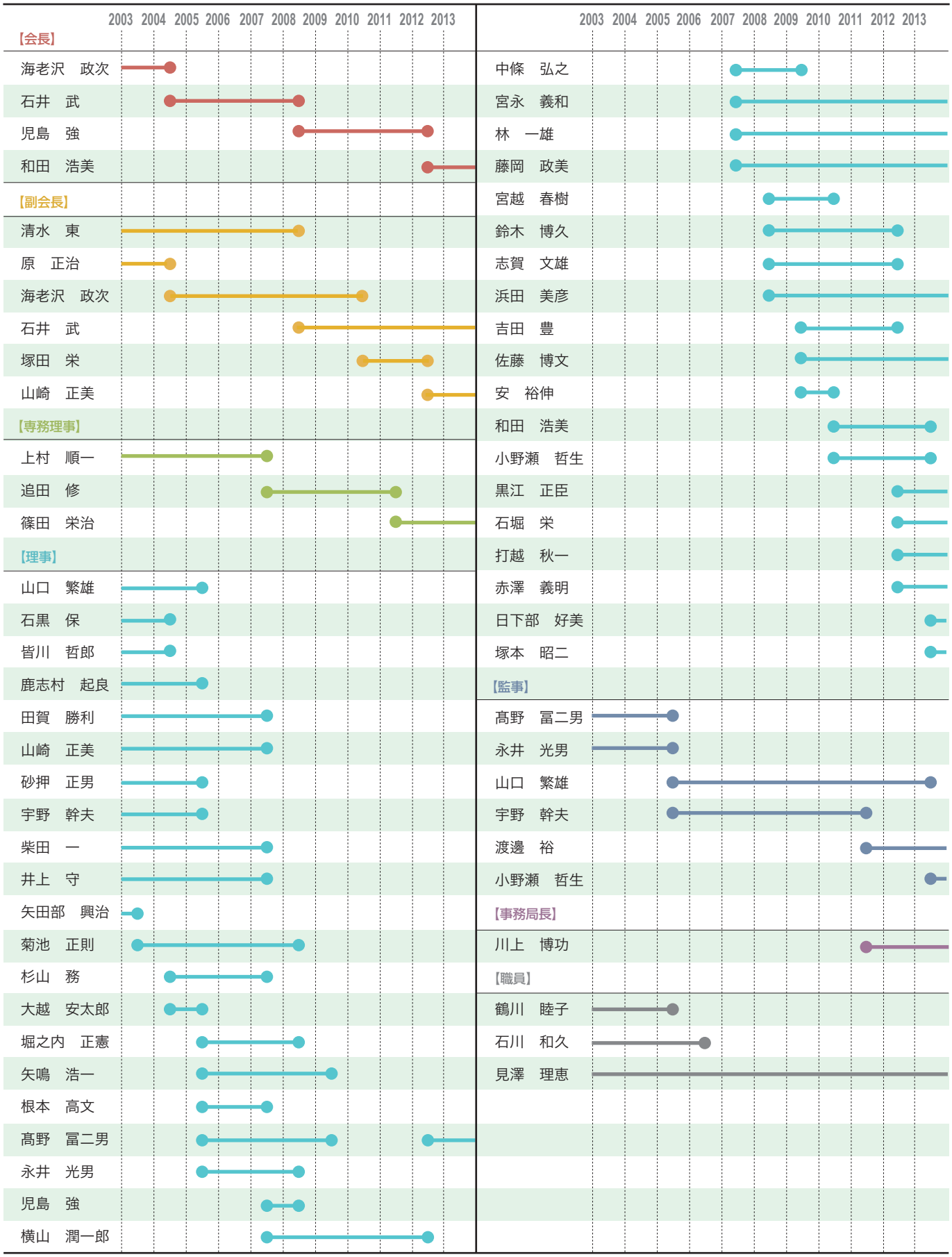
[1993-2002]

年度（4月～3月）



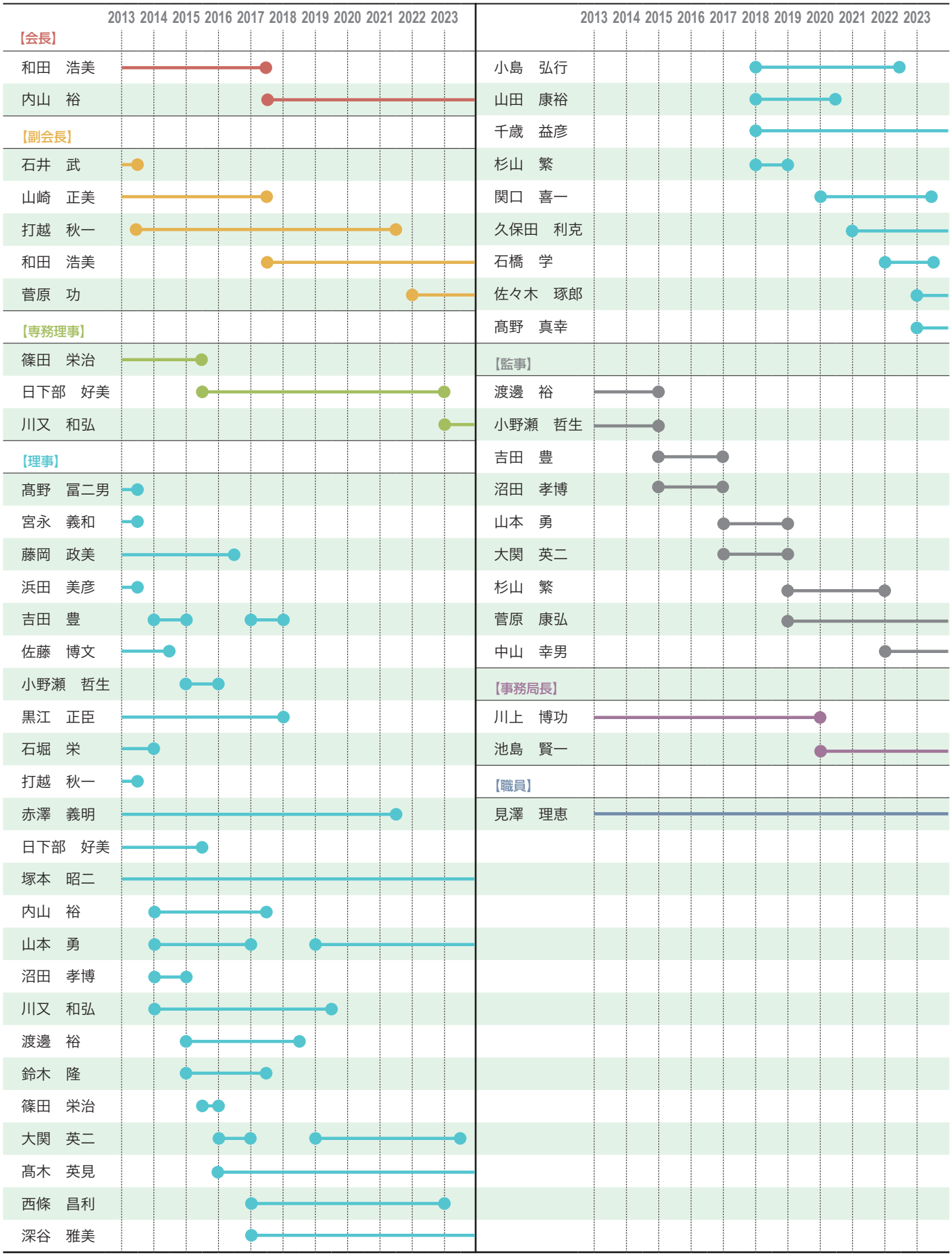
[2003-2012]

年度（4月～3月）

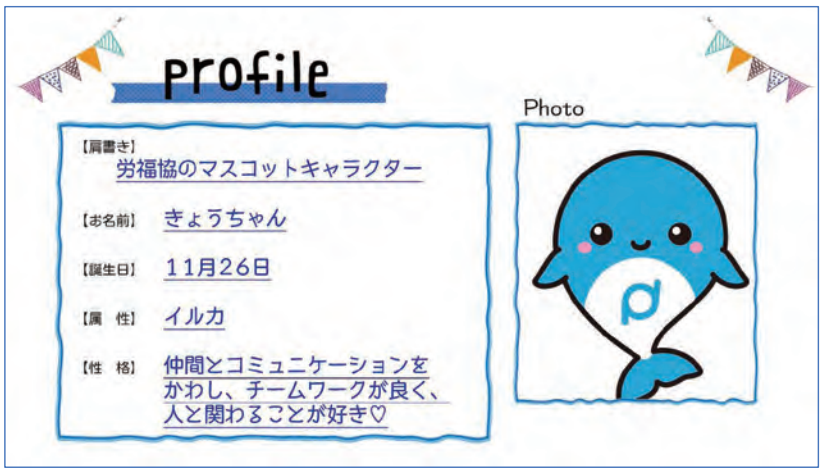


[2013-2023]

年度（4月～3月）



●地域労働者福祉協議会



●一般社団法人 茨城県労働者福祉協議会 会員名簿

労働団体 33団体

日本労働組合総連合会茨城県連合会
電機連合 茨城地方協議会
自治労 茨城県本部
日教組 茨城県教職員組合
基幹労連 茨城県本部
JAM 茨城
UAゼンセン 茨城県支部
自動車総連 茨城地方協議会
電力総連 茨城県電力総連
情報労連 茨城県協議会
JEC連合 茨城地方連絡会
JP労組　茨城連絡協議会
私鉄総連 茨城県私鉄労働組合連合会
全国農団労 茨城県農業協同組合労働組合連合
フード連合 茨城地区協議会
運輸労連 茨城県連合会
政労連 茨城地方連絡会
紙パ連合 紙パ連合連絡会
全国競馬連合 日本中央競馬会関東労働組合
国公総連 全農林労働組合関東地方本部茨城分会
森林労連 林野茨城県支部
全水道 関東地方本部茨城県支部
全自交労連 茨城地方本部
全労金 中央労働金庫労働組合茨城統括支部
海員組合 全日本会員組合関東地方支部
全国ガス 全国ガス労働組合連合会
労済労連 全労済労組関東支部茨城分会
JR東日本労働組合水戸地方本部
動力車労働組合
国鉄労働組合 水戸地方本部
茨城新聞労組
全法務労組 水戸支部
茨城県高等学校教職員組合

事業団体 6団体

中央労働金庫茨城県本部
こくみん共済coop茨城推進本部
生活協同組合パルシステム茨城 栃木
日立平和台霊園
茨城県労働者福祉基金協会
水戸市勤労者福祉サービスセンター

一般社団法人
茨城県労働者福祉協議会

〒310-0022
茨城県水戸市梅香2丁目1-39
Tel.029-231-3503

2023年10月18日発行

◎労福協のシンボルマーク
このマークは「人」という漢字をデザイン化したもので、簡潔で親しみやすく、中の輪は人と人の「和」を表しています。